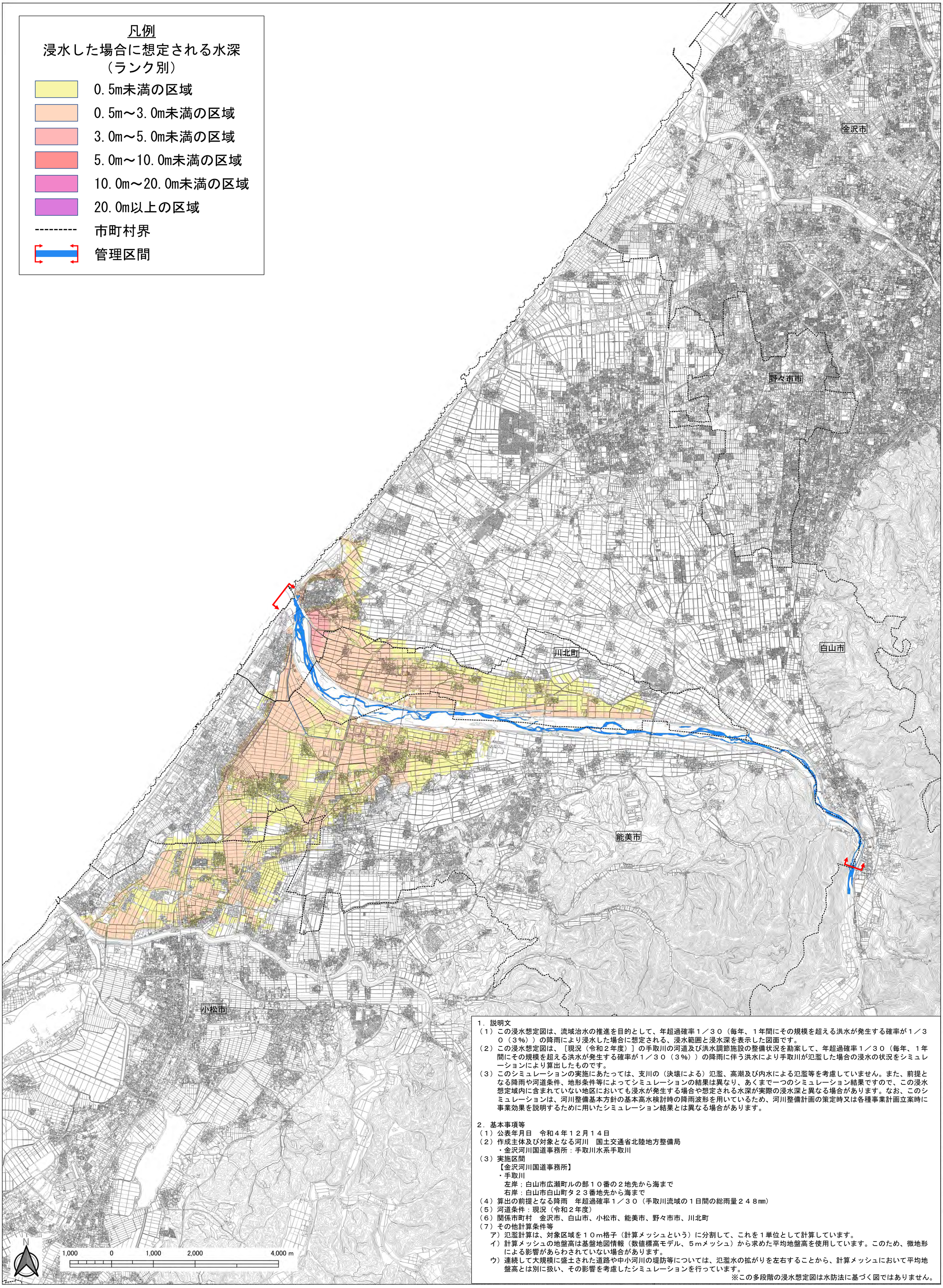
手取川水系　国管理河川の浸水想定図（１／３０規模降雨）
【現況河道】



１．説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、［現況（令和２年度）］の手取川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３%））の降雨に伴う洪水により手取川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年１２月１４日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
　・金沢河川国道事務所：手取川水系手取川

（３）実施区間
　【金沢河川国道事務所】
　・手取川
　　左岸；白山市広瀬町ルの部１０番の２地先から海まで
　　右岸：白山市白山町タ２３番地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／３０（手取川流域の１日間の総雨量２４８mm）

（５）河道条件：現況（令和２年度）

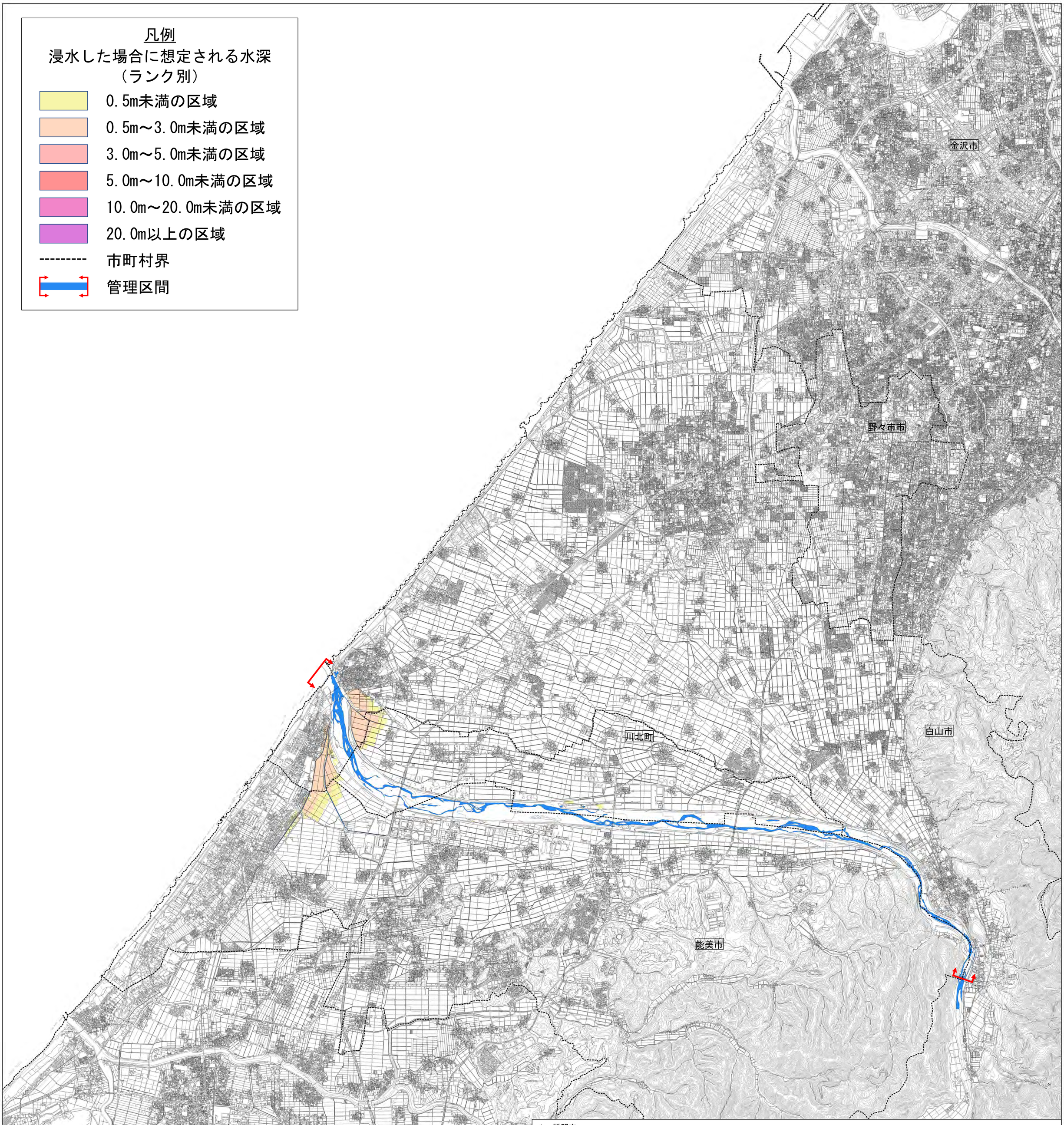
（６）関係市町村　金沢市、白山市、小松市、能美市、野々市市、川北町

（７）その他計算条件等
　ア）氾濫計算は、対象区域を１０m格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。
　イ）計算メッシュの地盤高は基盤地図情報（数値標高モデル、５mメッシュ）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
　ウ）連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 550」

参考　手取川水系　国管理河川の浸水想定図（１／３０規模降雨）【現況河道一量的整備評価】



１．説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、［現況（令和２年度）］の手取川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））の降雨に伴う洪水により手取川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）量的整備評価とは、これまでに行ってきた河道掘削や堤防整備等の河道の整備状況を示すために、洪水を安全に流下させるために必要な堤防の高さや幅、支川合流部の施設整備等が十分でない場合に生じる、堤防等からの越水や堤防決壊、支川への逆流による浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年１２月１４日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
　・金沢河川国道事務所：手取川水系手取川

（３）実施区間
　【金沢河川国道事務所】
　・手取川
　　左岸；白山市広瀬町ルの部１０番の２地先から海まで
　　右岸：白山市白山町タ２３番地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／３０（手取川流域の１日間の総雨量２４８㎜）

（５）河道条件：現況（令和２年度）

（６）関係市町村　金沢市、白山市、小松市、能美市、野々市市、川北町

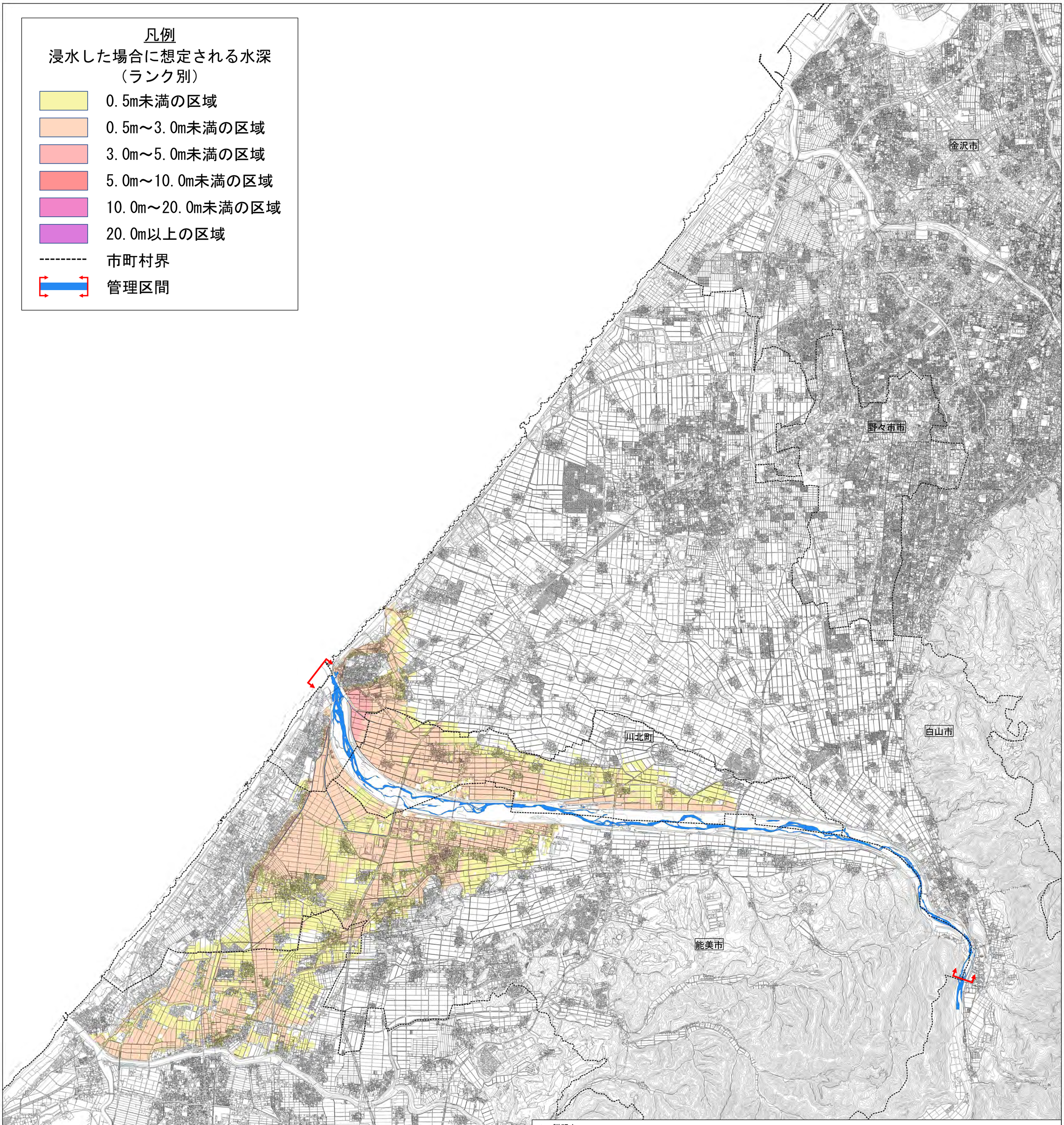
（７）その他計算条件等
　ア）氾濫計算は、対象区域を１０ｍ格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。
　イ）計算メッシュの地盤高は基盤地図情報（数値標高モデル、５ｍメッシュ）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
　ウ）連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 550」

参考

手取川水系　国管理河川の浸水想定図（１／３０規模降雨）【現況河道一質的整備評価】



１．説明文

（１）この浸水想定図は、流域治水の推進を目的として、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））の降雨により浸水した場合に想定される、浸水範囲と浸水深を表示した図面です。

（２）この浸水想定図は、［現況（令和２年度）］の手取川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３％））の降雨に伴う洪水により手取川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（３）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この浸水想定域内に含まれていない地区においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（４）質的整備評価とは、急流河川である手取川では、河岸の侵食・洗掘等が堤防決壊の原因となり、低い水位でも破堤する恐れがあることを踏まえて、堤防付近の洗堀や侵食に対して十分な抵抗力を持たない堤防が決壊した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

２．基本事項等

（１）公表年月日　令和４年１２月１４日

（２）作成主体及び対象となる河川　国土交通省北陸地方整備局
　・金沢河川国道事務所：手取川水系手取川

（３）実施区間
　【金沢河川国道事務所】
　・手取川
　　左岸；白山市広瀬町ルの部１０番の２地先から海まで
　　右岸：白山市白山町タ２３番地先から海まで

（４）算出の前提となる降雨　年超過確率１／３０（手取川流域の１日間の総雨量２４８㎜）

（５）河道条件：現況（令和２年度）

（６）関係市町村　金沢市、白山市、小松市、能美市、野々市市、川北町

（７）その他計算条件等
　ア）氾濫計算は、対象区域を１０ｍ格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。
　イ）計算メッシュの地盤高は基盤地図情報（数値標高モデル、５ｍメッシュ）から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響があらわされていない場合があります。
　ウ）連続して大規模に盛土された道路や中小河川の堤防等については、氾濫水の拡がりを左右することから、計算メッシュにおいて平均地盤高とは別に扱い、その影響を考慮したシミュレーションを行っています。

※この多段階の浸水想定図は水防法に基づく図ではありません。

この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。「測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 4JHs 550」